

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況(10 点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 ×営業時間)	10		平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例：4年目の 場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であ ると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した 値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。		
						平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)				
			②利用人数			平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をい う。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例：4年目 の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であ ると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出し た値	105% 未満 ～ 95% 8点	H25年度来館総人数 幼児1,680名 小学生3,877名 中学生427名 大 人2,820名 総合計 8,804名 H26年度来館総人数 幼児1,628名 小学生4,862名 中学生532名 大 人2,973名 総合計 9,995名 H27年度来館総人数 幼児2,462名 小学生5,068名 中学生501名 大 人3,179名 総合計11,210名 H28年度来館総人数 幼児2,060名 小学生5,485名 中学生300名 大 人2,238名 総合計10,083名 ・幼児親子の来館分が少し減ったものの、小学生は来館者が増え た。特に男子が多く、運動遊びが多かったので、遊戯室にあった マットを倉庫にすべて収納し、電子ピアノと卓球台の位置を換える など、狭い遊戯室でも広く使える工夫をした。	
						平均値比100.7%=利用人数(H28来館者数述べ10,083人)÷ (H25,26,27年度来館者数平 均値10,003人)(上記(3)適用)				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)			15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施 (軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施 (中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(1年間に渡り、月11回程度開催、計123回開催、 述べ約2,241名参加) ・児童を対象とした事業(1年間に渡り、月11回程度開催、計128回開催、述べ約 1,605名参加) ・地域・多世代間交流事業(1年間に渡り、月2回程度開催、計29回開催、述べ約 1,195名参加) ・中高生事業(1年間に渡り、月1回程度開催、計12回開催、述べ約64名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(1年間に渡り、月2回程度開 催、計27回開催、述べ約676名)	仕様書 以上 13点	・仕様書以上の事業を展開できた。	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)			15	内容・事業数等が期待以上: 15～12点、 内容・事業数等が例年通り: 11～9点、 内容・事業数等が例年より やや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より 劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年より かなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計62回開催、述べ約1,274名参加) ・児童を対象とした事業(計53回開催、述べ約755名参加) ・地域・多世代間交流事業(計26回開催、述べ約687名参加) ・中高生事業(計4回開催、述べ約20名参加)	例年通 り 11 点	全体的な評価 ・事業数も多く、参加人数は想定を上回った。 (例:乳幼児ハロウィン 定員30組が41組参加、小学生デイキャ ンプ 定員25名が34名参加) ・各項目に於いて、市、地域、ボランティア団体等と連携し行う事 業があり、参加者にも高評価を得た。 ・参加者が地元への誇りを感じることができるようにと、おさんぼ クラブ、陶芸教室など、地域の長所を生かす特色ある事業を行っ た。	11点

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理業務 の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	・ 定期清掃・日常清掃を行い、適正に環境整備を行った。 ・ 棚、倉庫整理を行い、不要と思われるものは廃棄した。	適正(普通) 2点	・ 適正に実施した。	10点		
			②保守・点検			・ 電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。館庭整備の一部は委託により実施。	適正(普通) 2点	・ 適正実施した。			
			③保安・警備			・ 非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実施。	適正(普通) 2点	・ 適正実施した。			
			④小規模修繕			①トイレドアノブ取替え 2,354円②図書室棚ひび割れ修繕 3,000円③卓球台収納時の安全固定 2,000円 ④遊戯室棚修繕 10,462円⑤遊戯室天井蛍光灯交換 20,000円⑥図書室ブラインド修繕 8,640円 ⑦門横フェンスの錆取りペンキ塗り5枚 3,743円⑧幼児室エアコン基盤修繕 29,160円 ①～⑧については10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕を行い、利用者にとってより良い環境づくりに心がけた。	適正(普通) 2点	・ 修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応した。			
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			・ 業者による安全点検を実施 ・ 毎月1回職員による安全点検で危険箇所を把握し、改善できる箇所は速やかに対応している。	適正(普通) 2点	・ 館庭の石拾い(陶器類)、蜂の巣駆除、床や柱等のささくれ除去(乳幼児の目線で修繕)、卓球台固定 ・ 館の西側は綱を張り、侵入禁止をわかりやすく示した。			
		(2)その他管理業務 の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・ 文書目録に基づき管理している。	適正(普通) 2点	・ 文書目録に基づき管理している。	11点		
			②環境への配慮			・ 多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙、裏紙を使用している。 ・ 市役所や他の児童館等の連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えている。 ・ 冷房、暖房は適正な温度に設定し、環境に配慮している。 ・ 夏季はプールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。 ・ 多治見市によりミスト発生器を設置、市配布のゴーヤを23本植栽するなど、室温の上昇を抑えるよう取り組んだ。 ・ 工作、プレゼントは牛乳パックなどの廃材を利用するなど、資源ごみのリサイクルを実施している。 ・ 昼休みは電気を消している。	適正(普通) 2点	・ 適正に実施した。			
			③バリアフリー			・ 玄関、幼児室入り口に段差プレートを新たに設置した。 ・ 福祉体験で来館者と共に点字について学習した。	期待以上 3点	・ 古い施設のため生じている段差の解消に努めた。			
			④備品管理			・ 備品台帳に沿って適正に管理している。	適正(普通) 2点	・ 備品台帳に沿って適正に管理した。			
			⑤個人情報保護			・ 社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理している。	適正(普通) 2点	・ 適正に実施した。			
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり:△1点)	・ 中学生が館庭で遊んでいる最中に足を捻ったとのことで、手当てをし安静にさせ、母親に連絡した。全治3週間の捻挫と診断され、児童安全共済で対応した。	事故なし・対応に不備なし 0点	・ 社会福祉協議会内での事故報告は、全職員に周知し情報を把握した。特に児童館に於いての事故は会議で詳細を説明し、今後の事故防止につなげるようにした。	0点		
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	10,867,710÷8,724,768=124.5%	105%以上 5点	・ 指定管理委託料の範囲内で適正に事業を行なった。 ・ 職員配置に伴う人件費が下がった。	5点			

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・ アンケートボックスを設置し、随時意見を受け入れると共に、クラブや行事後に個々にアンケートを実施した。意見は謙虚に受け止め、高評価を得たものは、より一層工夫をして次に繋げている。	期待以上 8点	・ 定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・ 苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	・ 社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対処している。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・ 館庭の草刈は、職員がほぼ毎日草刈機を用いて行った。そのため、雑草が乱雑に生い茂った時入れなかった場所も、常時遊び場として使えるようになった。 ・ 蚊の発生を少しでも抑えるため、週に1度、溝消毒を行った。 ・ 壁のはがれ、汚れを目立たなくするため、ウォールシールを貼り、見栄えをよくした。 ・ バasketゴールを設置。家庭用なので倒れることを懸念し、使用していない遊具に沿わせた。 ・ 交通安全教室、多治見警察署職員による防犯訓練を行い、適切な事故防止や対応を来館者と共に学んだ。 ・ 看板を書き換え、位置も移動して遠方からも見やすくわかり易くした。 ・ 月に1回、東山(49区)で乳幼児対象と小学生対象に移動児童館を行った。 ・ 講師を招いて実技研修を行った(一輪車、AED、支援児対応)。 ・ 児童厚生員東濃ブロック研修、毎月代表者会議、年1回の常勤職員会議、職員交換研修を行い、各館との交流、ヒヤリハットなどを周知している。	期待以上 14点	・ 利用しやすく、清潔で印象の良い環境づくりを心がけた。 ・ 社会福祉協議会の特性を活かした事業を実施した。(発達支援センター、障がい者福祉センター、地域福祉課連携) ・ 資質向上のため、支援児、AEDなどの職員研修を行った。また、常勤職員全員で会議を行い、事業運営に於いてのスキル向上を図った。	14点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・ 適正に実施した。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・ 適正に実施した。	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・創意工夫のある事業が、来館や事業への参加に結びついている。	良好	